

読書の楽しさを広めたい



布の絵本を読み聞かせる北川さん



おはなし会の最後に、子どもたちと折り紙を楽しむ



20周年を迎えるF・ネット

多くの市民が訪れる市図書館は開館から今年で20周年になる。同時期に誕生したボランティア団体組織F・ネットも20周年を迎える。読み聞かせや朗読、人形劇などを行う9団体約140人が所属し、読書まつりや古本ばくりっこなど、さまざまなイベントを図書館と連携して実施。いずれも市民の皆さんに親しまれ長く続いている。今年は節目の年なので、活動をまとめた記念誌の発行などを計画している。

平成25年度から会長を務めている北川由合子さん。「活動を続けることで、さまざまなサークルの方や図書館の皆さんと交流できて勉強になっていきます」と話す。

おはなし会で活動

F・ネットの所属団体「おはなしの会をそのまま」で活動している。

北広島市図書館フィールドネット運営委員会会長

北川 由合子さん

きたがわ・ゆりこ
稲穂町東在住。
北広島市図書館フィールドネット運営委員会（略称F・ネット）の会長を務め、子どもたちに絵本の読み聞かせなどを行っている。不登校の子どもを支援するNPO法人子どもサポート隊の活動にも参加。市の図書館協議会や市民参加推進会議の委員も務めている。

子どもたちへの読み聞かせは10年以上続け、先月も図書館児童コーナーで開かれたおはなし会で、絵本などを読み聞かせた。

子どもと一緒に親も熱心に聞き入る様子が見られた。「大人になっても誰かに本を読んでもらうことは心地良いと思います。だから、お母さんやお父さんも一緒に楽しんでほしいですね」と語る。

市内の小学校でも読み聞かせをしている。子どもたちから「面白かった」と感想の手紙が届くことがある。卒業してからも、外で会うと声を掛けられ、とてもうれしいそうだ。

本にこだわった活動をする理由を聞いた。「本を読むことは自分を見つめるきっかけになりました。考える力を育てるためにも読書は大切だと思っています」

子どもたちをサポート

ほかに不登校の子どもたちを



支援する活動に参加している。中学生と一緒にレクリエーションをしたり、本を読んだりするそうだ。「この本の内容を（北川さんは）どう考えているの」と感想や意見を求められることが多い。そんな時は、ありきたりの事は言わず、自分の経験から自分自身の言葉で話すようにしている。そうすることで信頼関係が築かれると考えているからだ。

実は漫画も大好きな北川さん。人気の作品について語り合うこともあるそう。

まちづくりに尽力

市の市民参加推進会議委員も務めている。市民参加について「もっと多くの方に関心を持ってもらえるよう、情報を発信したいです」と話す。

これからもまちづくりや、子どもたちの健やかな成長のため、幅広く活動してほしい。